

Q&A ドック・健診に関すること

- ①人間ドック・健診について
- ②交通
- ③営業日
- ④予約・キャンセル
- ⑤人間ドックの受診可否について
- ⑥ドック前日の食事について
- ⑦ドック当日について
- ⑧終了時間について
- ⑨ドック後の体調について
- ⑩結果



①人間ドック・健診について

Q：人間ドックは何歳から受けられますか？

A：特に何歳からという規制はありませんが、通常成人（20歳以上）を対象としています。ただ、補助金制度等をご利用になれる場合は、35歳または40歳以上の方が多ようです。ご加入の健康保険組合等へ補助金制度等をご確認頂き、お申し込み下さい。

Q：高齢者（75歳以上）でもドックの受診はできますか？

A：受診できます。ただし安全のために当センターでは、日帰りドックの胃カメラ検査(オプション追加)で受入れいたします。2日ドックについては、80歳～85歳までは原則、通院コースとなります。当日の病状・症状で検診の中止となる場合もあります。

Q：「健康診断」と「検診」と「人間ドック」の違いはなんですか？

A：「健康診断」とは、全身の健康状態をチェックする目的で行われるものです。種類には、国の法律で定められた「法定健診」と、個人の判断で受ける「任意健診」があります。その種類によって実施される検査項目や内容には違いがあります。「人間ドック」は法的な義務ではなく個人の意思で受ける任意健診にあたります。法定健診とは異なり、検査項目がとて多多いのが特徴です。一般健診や特定健診の内容に加えて、胃カメラやCT、MRIなどの検査項目が増え、女性特有の病気や脳に特化した検査など医療施設によってさまざまなコースが用意されています。個人の意思で検査項目を選んで行うものなので、基本的に自費になりますが、最近では費用を補助する職場もあります。「検診」は、ある特定の臓器に対して異常があるかないかを診断するものです。例えば、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診などがあります。

Q：人間ドックはどれくらいの周期で受けたほうが良いですか？

A：一年に一回をお奨めしています

Q：外来で診てもらおうのと、ドックを受けるのはどちらが良いですか？

A：外来で検査を受ける場合には、一度に多くの検査を受けることは難しいですが、ドックでは、体の状態の全体像がわかりよりよい診断が可能です。但し、ドックでは健康保険は適応されませんので、その分料金的には高くなりますが、加入健康保険による人間ドックの助成制度もありますので、それを利用することもできます。

また、具体的に症状がある方は、外来でご相談下さい。人間ドックでは、定期的にご自分の健康状態をチェックし、健康管理にお役立ていただきたいと思ひます。

Q：特定健診の内容を教えてください。

A：特定健診はメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防とその改善が大きな目的です。健診内容は、身体測定・血圧・採血（肝機能、脂質、糖尿）・尿・診察になります。

②交通

Q：交通アクセスについて教えてください

A：バスでお越しの場合は、東洋バス 30 番 病院前でお降りください。

車の場合の所要時間、空港より 40 分、沖縄市方面より 30 分、宜野湾方面より 20 分程です。

Q：離島ですが、当日入りでも良いですか？

A：検査案内に支障が出るため、出来るだけ前日までに本島に入ってください。

③営業日

Q：日曜祝日の受診はできますか？

A：病院自体が休診の為、人間ドックも休みとさせていただきます。

日曜祝祭日、年末年始(12月31日～1月3日)は休みとなります。お盆は通常実施しております。

Q：レディースデイはありますか。

A：毎月第4土曜日のみ実施しています。

④ 予約・キャンセル

Q：胃カメラ希望日に入れるようにするにはいつ頃予約の連絡をすればいいですか？

A：ほとんどの団体が4月から受付スタートするので胃カメラ希望者が殺到します。
先の日程でもなるべく早めの予約連絡をおすすめします。

Q：予約（申込み）は最短でいつ取れますか？

A：ご希望のコースや予約状況によっても変わりますが、2週間先でご案内しております。但し、混み具合などによりご希望のお日にちがご取りできない場合もございますので、なるべくゆとりを持ってお早めにご予約（お申込み）をお願いします。

Q：オプション検査は受けられますか？

A：受診可能です。当日追加可能な検査もございますが、対応出来ない場合もございますので、ご予約時か受診日の2週間前までにはお申し込み下さい。

Q：キャンセル・日程変更はいつまでに連絡すればいいですか？

A：なるべく早めの連絡をお願いします。
胃カメラに関しては非常に込み合う為日程変更が難しい場合もあります。

Q：キャンセルしたい検査があるのですが、料金はどうなりますか？

A：身体的理由やそのほかの理由で健診項目の一部が受診いただけなかった場合でもセット料金の為、原則として健診費用の差額調整はございません。
2日ドックで契約団体にもよりますが、調整できる検査もございます。お問い合わせください。

⑤ 人間ドックの受診可否について

Q：外国人の受診受入れは可能ですか？

A：可能です。ただし日本語が分からない場合は通訳の方の同伴をお願いしています。

Q：聾啞者や身体障害者の方が受診する場合、どのように対応していただけますか？

A：受付時受診中の対応については、付き添いの方をお願いしております。
聾啞者については、筆談にて対応致します。

Q：身障者（車いすなど）の受診受入れは可能ですか？

A：可能です。付添の方の同伴をお願いしております。

Q：ペースメーカーの植え込みをしています。検査を受けることができますか？

A：健診・ドックともに受診可能ですが、検査に制限があります。MR 検査、MMG 検査は実施出来ません。バリウム検査に関しては、ペースメーカーの種類によってご案内できない場合もあります。受診の際は、ペースメーカー手帳をご持参ください。

Q：予防接種後ですが、検査を受けることができますか？

A：特に問題はないですが、あまり体調がよくない場合は、体がだるくなったりする場合がありますので、体調のよいときをおすすめします。

Q：風邪症状があります。検査を受けることができますか？

A：軽い症状なら検査を行うこと自体には問題ありません。しかし、炎症反応や白血球数などのいくつかの検査結果には影響があります。また、発熱・下痢・吐き気など、明らかに体調不良の状態であれば、受診の延期をお奨めいたします。

⑥ ドック前日の食事について

Q：前日の夕食は何時までに食べたらいいですか？

A：前日の 8 時以降絶食となりますが、お茶、お水であれば 11 時まで可能。
当日は 7 時までにコップ 1 杯のお水なら飲んでいただいても構いません。

Q：検査前日に何時頃まで飲酒してもいいですか？

A：前日午後 8 時までに飲食は済ませて頂くようにご案内しておりますが、飲酒についてはお控え下さい

⑦ ドック当日について

Q：受診当日、朝ごはんは食べてきてしまいました。検査を受けることはできますか？

A：食事をとった場合、食事に影響を受けない検査は実施可能です。胃検査の可否は、問診時に看護師が、詳しい摂取内容を確認し、判断いたします。

当日の飲食については、一切なさらないようにご案内しております。どうしても水分をお取りになりたいという方は、コップ一杯のお水を朝 7 時までにお取りください。

Q：朝、薬を飲んでしまいました。検査を受けることはできますか？

A：内服した薬の種類を教えてください。薬の薬効・形状によって検査可否が決まります。

問診時、スタッフが詳しい内服状況を確認後、検査できるか確認いたします。

お薬手帳は受付の際にご提出ください

常用の内服薬の服用は、健診前に必ず主治医に相談し、その指示に従ってください

服用してはいけない薬	服用してほしい薬 ※朝 7 時まで
<p>×：糖尿病の薬(内服薬・インスリン注射) 検査当日は絶飲食のため低血糖を起こす恐れがあります。</p> <p>×：胃薬 胃検査が受けられない場合があります。</p>	<p>○：血圧の薬 血圧が高いと検査が中止になる場合があります。</p> <p>○：抗凝固薬・抗血小板薬(血液サラサラ) 休薬せずに服用してください。</p> <p>○：鎮痛薬 頭痛等の症状がある方は、事前に服用されることをお勧めします。</p>

Q：お薬は飲んでいませんが、サプリメントを飲んでます。

A：検査には差し支えありません。当日、朝の服用は避けて下さい。

Q：着替えの際の注意事項を教えてください。

A：アクセサリー類・ネックレス・コルセット・ブラジャー等は検査時外して下さい。

靴下、無地(袖なし)の肌着を着用しても構いません。肩紐部分に調節金具がついているものやパットつきの肌着は検査に支障が出るため着用はご遠慮いただいています。

* 待合室に、ひざかけをご用意していますのでご希望の際は、スタッフまでお声掛けください。

Q：靴下は履いていても良いですか？

A：靴下を履いての受診は可能です。室内が冷える場合は、ひざかけをご用意していますのでご希望時お声掛けください。

Q：コンタクトをしていても良いですか？

A：ハードコンタクトは眼圧検査がでないため、お取りいただいています。ソフトレンズは大丈夫です。

Q：呼び出し時に、名前を呼ぶ事を希望する場合対応していただけますか？

A：受診者の呼び出しに名前に対応することは可能です。検査着に着替えて頂いた後、確認致します。ファイルに氏名希望の札をし、スタッフへは名前に対応するように申し送ります。

⑧ 終了時間について

Q：何時ごろ終わりますか？

A：検査の内容にもよりますが、早い方で(協会健診)午前9時半、最後の受診者が午後2時ごろにはお帰りになっています。

Q：早めに帰宅したいのですが？

A：お帰りの希望時間を教えてください。可能な検査を実施していきます。受けられなかった検査がある場合には、日程を調整して後日検査を実施していきます。食事はサービスですので後日対応はしておりません。ご了承ください。

⑨ ドック後の体調について

Q：帰宅後、気分不良になりました。

A：当センターまでお問い合わせください。状況を確認し、折り返しご連絡いたします。

Q：採血の後が青くなってきました。痺れもあるのですが大丈夫でしょうか？

A：青いのは内出血によるものと思われます。時間とともに青くなっている部分が少しずつ下方に移動して黄色がかって徐々に吸収されます。消えるまで2週間はかかります。痺れが続くようでしたら、当センターへお越し下さい。

⑩ 結果

Q：ドック（健診）の結果はいつもらえますか？

A：約3週間をめぐりに送っています。健診結果を早めに欲しいという場合は対応可能です。

Q：健診結果に関してもう一度説明を受けたい

A：本人確認を確実にを行うため、また正確な情報伝達の為、結果の説明は原則、来院していただき、医師・保健師・看護師より結果の説明をさせていただきます。

対応時間は、基本診察終了時間後となっております。

Q：健診結果表の判定の意味を教えてください。

A	異常なし	
B	差し支えなし	基準値より検査値が高いまたは低いですが、問題ない
C	経過観察	次回の健診（約 12 ヶ月後）に変化がないかどうか確認してください。健診後の結果説明時医師から生活改善の必要がある旨の説明があった場合には改善後次回の検査を受けて改善しているか確認をしてください。
C1	6 か月後 再検査	食事、運動、飲酒、喫煙習慣の改善後 6 ヶ月後に近医で再検査を受け改善の有無を確認してください。
C2	3 か月後 再検査	食事、運動、飲酒、喫煙習慣の改善後 3 ヶ月後に近医で再検査を受け改善の有無を確認してください。
D	再検査	もう一度検査を受けてください。検査後、診察医の指示を受けてください。
D1	要治療	治療を受けてください。紹介状を持参し、表示されている診療科を受診して下さい。
D2	要精密検査	詳しい検査を受けてください。紹介状を持参し、表示されている診療科を受診して下さい。
E	治療中	治療や経過観察を継続してください
Z	未検査	